



将来の夢は何ですか？

将来何になるの？ どんな仕事をするの？ あなたの夢は何ですか？ この問いに、明確に答えられる人はまだそう多くないでしょう。でも高校時代は自分の進路について考え始める大切な時期です。今回はそんなみなさんに、何冊かの本を紹介します。



『なぜ僕らは働くのか』 池上 彰 著 (Gakken)

君が幸せになるために考えてほしい大切なこと

仕事、お金、幸せ、AI、多様性、働きがい…。働くうえで考えるべきテーマをマンガと図解で伝えています。これから将来を考え始める中高生、社会に出ていく若者たちが、未来に明るい希望を持てるように。そんな想いが込められた、温かくて前向きになれる一冊。

- 勉強や学校は何のため？ ●学歴が大事だがそれがすべてではない！
- コミュニケーション能力とは？ ●自分の人生に向き合おう
- 一人になって考える大切さを知ろう ●「ふつう」にしばられない！
- 挫折や困難があなたを強くやさしい人にする ●人生に正解はない！
- 自信を持つことが未来を切り拓く ●あなたには無限の可能性がある

『新 13 歳のハローワーク』

村上 龍 著 (幻冬舎)

「国語が好き」「理科が好き」「美術が好き」など、興味のあることを入口とした職業ガイドブックです。600種類以上の職業の内容や、なるための方法がわかりやすく書かれています。公式サイトも充実しているので、参考に使ってみてください。<https://www.13hw.com/home/index.html>



『「どうせ無理」と思っているきみへ』

植松 努 著 (PHP 研究所)

将来なりたい職業や仕事があったとしても「どうせ無理」と思ってしまう人は多いでしょう。そんな人に、本当の自信の作り方を教えてくれる本です。「夢はたくさん持とう」「いきなり本番ではなく、小さく試してみよう」「弱い自分を見せる勇氣を持とう」といった具体的な考え方や方法がたくさん書かれています。



なるには BOOKS 別巻

『会社で働く』 製品開発ストーリーから職種を学ぶ！

松井 大助 著 (ペリカン社)



一つの商品が世に出るまでには、技術研究を行う人、商品の企画をする人、デザインを作る人、設計図を作る人、試作を作る人、工場で生産する人、流通で輸送する人、販売する人、品質保証を行う人、経理を行う人など、大まかに考えるだけでもたくさんの人が関わっています。将来自分がどんな仕事がしたいのか、考える参考になります。

仕事と生き方シリーズ

『声優という生き方』 中尾 隆聖 著 (イースト新書Q)

若者の人気の職業になった声優。業界のかたちが整い、より大きくなったものの、華やかさの陰には厳しい現実も待ち受けている。シリーズは他に、「教師という生き方」「動物園ではたらく」「放送作家という生き方」「保育士という生き方」「スポーツの現場ではたらく」「看護師という生き方」「自衛官という生き方」「警察官という生き方」などがあります。



少年ジャンプがどうしても伝えたい漫画の描き方

『描きたいを信じる!!』

週刊少年ジャンプ編集部 作（集英社）

少年ジャンプ編集部が本気で作った、「何も知らないところから、マンガを楽しく描いて上手くなる」ための一冊。漫画を描くときに必ず出てくる疑問から練習法、描けない時の壁の超え方など、ジャンプの人気漫画家の作品で紹介しています。



夜桜荘交幽帳

『さよならのための七日間』

井上 悠宇 著（富士見文庫）



三木北高校の卒業生で、第16回スニーカー大賞で優秀賞を受賞し、作家になる夢を叶えた井上悠宇さんの作品。“夜桜荘にいらっしゃい”……高校生の春馬の元に届いた一通の手紙。差出人は先月、事故で亡くなったはずの姉の葉子だった。

もう一度大切な人に会えたなら。死者と生者の心を繋ぐ感動の物語です。

『おうち de 俳句』

夏井 いつき 著（朝日出版社）

TV『プレバト!!』の俳句コーナーで大人気の夏井いつき先生が、家の中のモノを題材に俳句の作り方を教える初心者向けの本。身近にあふれている俳句のネタや、それを探すコツを伝授。大切なのは、五感を働かせ、想像力を働かせること。

さて、あなたの俳句の才能は、才能ありか？



『マスカレード・ナイト』 東野 圭吾 著（集英社）



9月中旬から公開中の映画『マスカレード・ナイト』の原作で東野圭吾の人気シリーズ。

若い女性の他殺体が発見され、ホテル・コルテシア東京のカウントダウン・パーティに犯人が現れるという密告状が届く。華麗なる仮面舞踏会が迫るなか、容疑者 500 人、タイムリミットは 24 時間。刑事とホテルマンの名コンビは、顔も分からない犯人を捕まえることができるのか!?

『イマジン』 有川 ひろ 著（幻冬舎）

想像力は、あるかい？ 憧れの映像制作の現場に飛び込んだ、27 歳の良井良助。聞き慣れない業界用語が飛び交う現場に戸惑う日々。でもそこは現実と物語を繋げる、魔法の世界だった。

映像制作の裏方を舞台にしたラブコメお仕事小説。今までの有川さんの作品が、あちこちに隠れていて、有川さんのファンなら、それを見つけるのも楽しい一冊です。



『眠れなくなるほど面白い経済の話』

神樹 兵輔 著（日本文芸社）



高収入＝幸福なのは年収いくらまで？ 1000 兆円の借金があるのに、日本はなぜ破綻しないのか？ ハンバーガー・牛丼・回転寿司が原価 4 割以上でも儲かる理由は？ 人は「松竹梅」とあると「竹」を選ぶのはなぜ？

世の中の動き・しくみは、経済学でまるわかりなんです！